



自分を伝える『校内生活体験発表大会』



8月28日(木)に「校内生活体験発表大会」が開催されました。高校入学前の自分と今の自分、日々の生活の中で感じたこと、考えたこと、学んだことなど、一人ひとりが自分の言葉を文字にして、夏休み前から書き進めてきました。「卒業するまでに1度は発表しよう!」という呼びかけに対して、今回は、1年生1名、2年生3名、3年生2名、4年生1名が発表してくれました。

普段おとなしく、ましてや声に出して自らの思いや考えを伝えるのが初めてという人も、勇気を出してみんなの前に立ち発表してくれました。その姿に胸を打たれ、大変感慨深い大会となりました。

また、発表者以外の生徒たちも大会運営に携わり、司会進行係や集計係など様々な方面から協力し、発表者が安心して発表できるように支えてくれていました。ありがとうございました。

最優秀賞は、3年生阿部翔之助さんの「変化は緩やかに」でした。



▲ 大会議室に設置された演台で発表

《校内生活体験発表大会 発表者》

- 1年 上道 愛奈
- 2年 齋藤 理人、田村 悠太、野口 隼聖
- 3年 阿部 翔之助、川島 勇牙
- 4年 山田 逸翔



祝 県大会出場



9月4日(木)、若里市民文化ホールを会場に「第59回北信高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」が行われ、本校からは3年生の阿部翔之助さんが代表として参加しました。当日は、北信地域の定時制・通信制高校から7名の生徒が登壇し、それぞれがこれまでの歩みや経験を力強く語ってくれました。

本校から出場した阿部さんは、見事「優秀賞」を獲得し、10月4日(土)篠ノ井交流センターにて開催予定の「第54回長野県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」に、北信地区を代表して臨むことになりました。おめでとうございます。



▲ ステージ上で堂々と発表



▲ ステージ上での記念撮影(中央)



総合的な探究の時間『中庭園藝』秋野菜種まき



春から本校の中庭の空き地を利用した『エディブルガーデン』の夏野菜づくりが終わり、9月からはカブや人参などの根菜を中心とした秋野菜の栽培が始まりました。

夏に育てたジャガイモ（既に夏休み前に収穫済み）やプチトマトを片付けて、再度畑を耕し、指の第一関節近くまでの深さの穴をあけ、種を1粒1粒丁寧に撒き、土で覆うという作業を全員で行いました。

普段スーパーで売られていたり、家で食卓に並ぶお馴染みの野菜が育つまでに、どのような作業が必要なのかを体験することで、食べ物全体に対しての見方が変わるのではないのでしょうか。



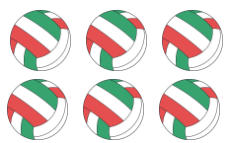
▲各自が手分けして種まき



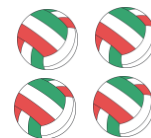
▲種が多すぎないように注意しながら



▲1週間後に芽が出ました



爽やかな汗をかいたスポーツデイ



9月18日(木)にスポーツデイが開催されました。今回の競技種目は、「ソフトバレーボール」、1チーム4人編成で行われました。普段の体育の授業から生徒たちは学年・男女混合で行っていますが、このスポーツデイではそこに先生もメンバーとして加わり、全員でワイワイ声を上げながら楽しんでいました。

特に今回は、「ソフトバレーボールが得意な人も苦手な人もみんなが楽しむことができるようにしたい」ということで、体育の授業中に生徒たちが試行錯誤して考え出した『ボールが床にワンバウンドまではOKルール』を適用したところ、長くラリーが続き、接戦を繰り広げることができました。

今回のスポーツイベントでは、単に身体を動かすことだけではなく、「参加者全員が楽しむことができるように」といった生徒たちの「優しさ」や「思いやり」を感じることができるイベントとなりました。



▲予選は3チーム総当たりリーグ戦



▲みんな上手にラリーが続いた



▲優勝チームにはQUOカードが贈呈